



きょうりゅう なまえ 恐竜 という名前がどうしてついたの

きょだい はっけん 巨大なトカゲを発見

きょうりゅう はっけん
恐竜が発見されたきっかけの一つは、イグアノドンというきょうりゅう は かせき はっけん
恐竜の歯の化石の発見でし
た。きょだい は かせき おお
巨大な歯の化石が、大トカゲのイグアナの歯とそっくりだったため、イグアノドンと名前
がつけられました。いぐあなどんより ねんはや はっぴょう
イグアノドンより1年早く発表されたメガロサウルスは、のこぎりの
ような歯をもつ、にくしよく きょだい
肉食の巨大なトカゲとされました。その後、メガロサウルス、ハイレオ
サウルス、イグアノドンなどの化石をいっしょに調べているうちに、これらが今いる「は
ちゅうるい とくちょう
虫類」とちがう特徴をもっていることに気づいた学者がいました。イギリスの考古学者、
リチャード・オーエンです。そこで、オーエンは、これらにあたら なまえ
に新しい名前をつけました。そ
して、1841年、いギリスのかがく きょうかい そうかい
科学しんこう協会の総会で、その名を発表しました。

おそろしいトカゲ

その名前はギリシャ語で、「おそろしい」という意味の「ダイノス」、と「トカゲ」とい
う意味の「サウルス」ということばをあわせて、「ダイノサウリア」となりました。
きょうりゅう がいこく つか
恐竜ということばは、外国で使われている「ダイノサウリア」を、にほんご
日本語にほんやくし
たものです。「おそろしいトカゲ」ではなく、「おそろしい竜」とやくしたのです。
きょうりゅう あたま ほね かたち あし こうぞう あし たい
恐竜は、頭の骨の形や、足の構造、足がどう体についているつき方などが、ほかの、
ちゅうるい
は虫類とかなりちがっています。(監修・今泉 忠明)

足と、どう体のつき方がちがう、は虫類と恐竜

